

決算特別委員会審査から②

市民の皆さんから「野菜が簡単に買えない」と切実な声が多く聞かれています。野菜高騰の原因は、この夏の異常気象に加え、農業資材・肥料などの高騰、農家の高齢化による生産力の後退が背景にあります。森田議員は「生産者の減少は、これまで国がおこなってきた輸入促進策と農業切り捨ての政策、さらに神戸市の政策の後退が要因だ」と厳しく批判し、国に支援を求めるとともに、神戸市でも価格保証、所得補償などの独自支援をすべきと求めました。

答弁ダイジェスト

椿野副局長：農業振興には国と県の事

- 質疑項目
1. 農業への支援強化について
 2. みどりの食料システム戦略について
 3. 中小企業支援について
—— 松本のり子議員
 4. ファッション産業の活性化について
—— 松本のり子議員

業があり、市でも肥料や堆肥の支援をしている。後退していることはない。

森田議員：市は1974年から23年間、価格差補填をして神戸農業を応援してきたが廃止した。今同様の支援が求められているのではないかと。

安岡担当局長：単に廃止したのではなく、次のステップに入った。時代に合った支援をおこなっていきたい。

森田議員：食を支える農家の皆さんが意欲と誇りを持って続ける上で、価格保証と所得補償は決定的な条件だ。国に求

9月27日

市独自の支援強化で、『食』を支える農家の応援を
経済観光局審査で森田議員



質問する森田たき子議員

めるだけでなく、市独自の対策を強化すべきだ。

9月28日

男女間の賃金格差を解消する
ために局は役割をはたせ
地域協働局審査で西議員



質問する西ただす議員

地域協働局は、企画調整局、行財政局の再編に伴い、今年度から新設されました。男女共同参画課を設置し、女性活躍の推進、地域コミュニティ施策、マイナンバーカードの普及、消費者トラブルへ

- 質疑項目
1. 区役所のアウトソーシング(外注)化について
 2. 男女の賃金格差是正について
 3. 六甲アイランドへの支所の設置について

の対応などを所管しています。過去30年に渡り自民党政権のもとで長期の経済停滞が続き、物価高によりさらに市民生活が追い込まれています。そのもとで、男女の賃金格差をなくすことは全体の賃金の引上げの上でも絶対に必要なことです。西議員は、正規雇用への転換を進める事業者への支援金制度の実施と、市が持つ保育士支援制度を女性の雇用が多い介護分野にも適用することを求めました。同時に、市の雇用形態自体が非正規雇用の増加につながっていると指摘し、局として男女の非正規雇用の比率はつかんでいるのか質しました。

答弁ダイジェスト

三和田部長：神戸市の雇用の男女比は委託事業についての把握は難しい。

西議員：非正規雇用で働く女性が多くなっているのはあきらかだ。女性の貧困や男女間の待遇面の格差の一因をつくってしまっている。地域協働局として待遇の改善、安定した雇用につなげるようにすべきだ。

9月28日

国保の独自控除を
継続して市民を守れ
福祉局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

神戸市は、高すぎる国民健康保険料の負担を軽減するため、神戸市独自の軽減策をとってきました。ところが2027年に保険料水準の統一化を図るためとして市町村単位から都道府県単位に変更、それに伴い独自控除の廃止が検討されています。現在独自控除を受けている世帯は2万233世帯で、廃止すると平均約4万～

- 質疑項目
1. 国保の独自控除継続について
 2. コロナ特例貸付について
 3. 訪問介護員のハラスメント対策について
 4. パートナースHIP制度について

6万円の負担増になります。大かわら議員は「物価高騰や公共料金の値上げ予定(2面につづく)

など生活が苦しくなっているのに、これ以上負担が増えれば暮らしが破たんする」と迫り、独自控除を継続するよう求めました。

答弁ダイジェスト

大かわら議員：激変緩和があると言わ

9月29日

JR須磨駅に スーパー誘致を 都市局審査で前田議員



質問する前田あきら議員

JR須磨駅は快速電車も停車する駅ですが、昨年トーホーが撤退したことにより、日用品を購入できる店がなくなりま

北区有野町有野の地域で事業者の違法な盛土による土砂が大雨等により住宅地域に流れ込む恐れがあることが分かりました。神戸市は再三事業者に撤去を求めましたが未だ応じていません。今年8月の台風7号では早めの避難を呼びかける「警戒レベル4」の避難指示が出されました。朝倉議員は「2021年に静岡県熱海市で発生した大規模土石流被害は違法な盛土の崩落による人災だった。その時に全国で盛土総点検をし、今回の違法が分かったのだから、危機管理として所管の環境局に土砂を一刻も早く取り除くよう、もっと積極的に指示をだすべきだったのでは」と質しました。また住民の皆さんに必要な情報を迅速に出し、被害を起こさないための緊急の対策を講じるよう求めました。

答弁ダイジェスト

れたが、段階的にあがっていく。今まで控除を受けるぐらい大変だった方だ。目の前は少しマシになるけど結局は負担が増えることになる。厚労省は都道府県化実施後も生活困窮者への自治体独自の軽減や一般会計からの繰り入れなどできると議会で答弁している。神戸市がちゃんと市民を守る立場に立つことが大事だ。

若杉副局長：まず県単位化という中で、県の中で統一的にどう判断していく

- 1. 王子公園再整備について
- 2. 新都市整備事業会計について
- 3. 駅前再整備について
- 4. 須磨駅前の商業施設の不足について
- 5. 都心・三宮の再整備について

質疑項目

した。神戸市は須磨駅の再整備をするという計画でアンケートを実施。2000件を超える回答があり、そこでも「若い人も年寄りも困っている。コンビニではなく、スーパーを今すぐに誘致してほしい」「スーパーがなくなり、私たち高齢者にとって陸の孤島だ」「JR須磨駅の南側にエレベーターがなく、バリアフリー化してほしい」という回答が多数ありました。前田議員は「トーホーが撤退して1年8ヵ月。アンケートの要望、周辺住民や利用者の切なる要望に応じて、再

整備待ちにならずに速やかに対応を講じるべきだと質しました。

大かわら議員：国保は年金生活者や失業された方など本当に所得の低い方が入っておられる保険だ。所得は低いが保険料が一番高いという構造的な問題もある。独自控除を守る姿勢にたっていたきたい。

整備待ちにならずに速やかに対応を講じるべきだと質しました。

答弁ダイジェスト

小島副局長：住民の日常生活を支えるという観点から、今すぐは難しいが、須磨駅周辺の再整備の検討の中で、引き続き検討していきたい。

前田議員：再整備を待っていたらいつになるか分からない。直ちにやっていただきたい。

10月2日

被害を起こさないための 緊急の対策を 危機管理室・消防局審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

危機管理室

- 1. 災害時の対応（北区有野町の盛り土問題）

消防局

- 1. 北区有野町の避難計画について
- 2. 消防指針について
- 3. 消防指令 三田市との共同運航について

朝倉議員：今年の7月に住民説明会をされたが、住民の方はその時に初めて知った、寝耳に水だと驚いた方がたくさんいる。環境局では2021年、危機管理室も2022年から把握されていたのであれば、もっと早く住民の方に知らせて共有すべきだったのではないか。

筒井危機管理監：言いたいことは一面分かる。中途半端な情報で住民の方に情報を流すのは不安をあおる問題もある。専門業者に調査委託して土石流が人家に

影響及ぼす可能性があると分かった時点で速やかに説明した。

朝倉議員：危機管理室として危機意識が甘い。住民の方はこれがいつまで続くのか不安だ。住民に協力を仰ぐのだから代執行手続とかの状況も含めて住民の皆さんに随時知らせるべきだ。

ぜひご視聴ください

森田たき子議員が一般質問

日時 10月24日(火) 14時20分頃から 場所 市議会本会議場

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください。

インターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください。

ご視聴はこちらから→

